



# Library Liébana

## 2024年2月度展示内容のお知らせ

### 【今月のベアトウス写本】

今月はベアトウスの黙示録註解書写本が最も多く残っている10世紀に製作された写本を中心に展示します。

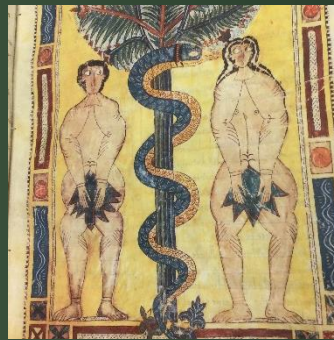
### 【ベアトウス黙示録写本より】



(ゴーリャ写本)  
10世紀第4四半期&  
12世紀第1四半期



(ウルジェイ写本)  
10世紀第4四半期



(エスコリアル写本)  
10世紀末期ごろ



(ジロナ写本)  
975年

### 【黙示録写本】



(バンベルグ黙示録写本)  
1000-1020年

## ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

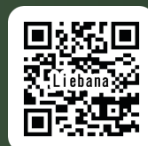
2月の開館日(予定)  
水・木・金・日曜日  
(HPで確認下さい)

Google Map



愛知県豊田市西町5丁目5  
VITS豊田タウン B1F  
(西町5丁目北交差点の  
外側階段を降りて下さい)  
10:00~17:00

H.P.



Instagram



2024年2月						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1 10:00 -17:00	2 (祝)	3 13:00 -17:00	4 10:00 -17:00	
5 10:00 -17:00	6 10:00 -17:00	7 10:00 -17:00	8 10:00 -17:00	9 10:00 -17:00	10 10:00 -17:00	11 10:00 -17:00
12 10:00 -17:00	13 10:00 -17:00	14 10:00 -17:00	15 10:00 -17:00	16 10:00 -17:00	17 10:00 -17:00	18 (祝)
19 10:00 -17:00	20 10:00 -17:00	21 10:00 -17:00	22 10:00 -17:00	23 10:00 -17:00	24 10:00 -17:00	25 10:00 -17:00
26 10:00 -17:00	27 10:00 -17:00	28 10:00 -17:00	29 10:00 -17:00	30 10:00 -17:00	31 10:00 -17:00	

ファクシミリ本とは：  
オリジナル写本の大きさや色を再現。  
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に  
再現した複製本も多数展示しています。



2月1日(木)、18日(日)、25日(日)はお休み  
2月2日(金)、8日(木)、22日(木)は13時開店  
です。

## ベアトウスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトウス(ベアトBeato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトウス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

### 今月の展示写本

今月は初期(9世紀～10世紀)に描かれた黙示録写本を展示します。色使いや描き方も素朴な感じがする写本です。

ベアトウス写本は当初は修道院で製作されたものが多く、羊皮紙も厚くて高価なものではなく、彩色も金銀が使われることが少なかったです。

#### 【コゴーリヤ写本】

途中まで10世紀半ばに書かれ、その後200年近く中断された後12世紀第1四半期に制作が再開された写本。

そのために49点の挿絵がありますが、前半はモサラベ様式の画風で、後半はロマネスク様式となり、挿絵の画風が大きく変わっています。

#### 【ウルジェイ写本】

10世紀後半にスペイン北部のアストゥリアス東部で作られた。ロマネスク様式のモサラベ風の90の彩色挿絵が描かれています。

章の見出しには、遊び心のある表示大文字が使用されます。これは、少し前のバルカバード写本のスタイルと図像を参照しています。羊皮紙の質の悪さは、それが修道院での使用の為に作られたことを示唆しています

#### 【エスコリアル写本】

エスコリアル写本は950年頃にサン・ミジャン・デ・ラ・コドーリヤ修道院で制作されました。ここではほぼ同時期にいくつものベアトウス写本が制作されました。

マドリード写本とほぼ同じ大きさで、151葉に52点の挿絵が描かれています。マドリード写本ほどではないが、明らかな切り取り跡が4か所あるのは残念です。また、挿絵がページ端で途切れている絵もあることから、もとはもう少し大きかったものを裁断したと思われる。

#### 【ジローナ写本】

114点の挿絵はほぼ完全な姿で残っており、写本の大きさも縦が約400mmもあり、12世紀以降に制作されたマンチェスター写本などを除けばウルジェイ写本と並び当時最大の写本でした。

挿絵は、イスラムの影響を受けたモサラベ風の建築物や服装などが多くみられる。幾何学的な形状、豊かな色、装飾された敷地、様式化された人物といった形に、イスラム美術と装飾的伝統が混ざって表現されている。

写本の最後の署名から、976年7月6日におそらくタバラの修道院で完成しました。挿画はエメテリウス(タバラ写本も制作)とエンが行いました。

挿画はエメテリウス(タバラ写本も制作)とエンが行いました。エンは女性名で修道女と考えられます。このことから女性も写本の制作に参加していたことがわかります。(当時の修道院は男女が厳密に分けられていなかった)

#### 【バンベルグ黙示録写本】

バンベルク黙示録は、1000年頃にボーデン湖畔のライヒェナウ島にあるベネディクト会修道院の修道士が、980年から1002年まで神聖ローマ皇帝オットー3世の要請を受けて作成し、後に「聖人」として知られる後継者ヘンリー2世の命令で完成させた写本です。295 x 205 mmの106のフォリオに、57の挿絵はほとんどフルページの大きさで、すべて金で装飾された豪華な彩色写本です。